

プログラム名(テーマ) 自然・仲間とのふれあい

目指す児童・生徒像		赤城の自然に触れた学習を通して、お互いのよさを知り、協力しながら学ぼうとする態度を高める						
	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			○ 青少年交流の家まで移動 ○ 始めの会（学活） ○ カレー作り（家庭）	野外炊事場	○（引き続き）カレー作り、会食（家庭） ○ 風景の写生（美術） ○ 等高線づくり（社会）	食堂	○ キャンプファイアー（総合） ○ 一日の反省	
			◎ カレー作りでは、男子だけ、女子だけの班を作り、男子は火起こし、女子は調理という概念にとらわれないで、仕事を分担できるようにする。		◎ 風景の写生では、「自然の静と動を描こう」をテーマにし、自然を改めて見つめ直すことで、絵の中に静と動を描くことができるようにする。その後班で展覧会を行い、お互いの作品を評価しあうようにする。 ◎ 青少年交流の家の地図を利用し、仲間と協力をして標高が同じ地点を線で結ぶ。 〔できるかどうかわかりませんが、標高線を実際にかくことで、理解が深まると思い、ぜひやってみたいと思いました・・・〕		◎ キャンプファイアーでは、クラス紹介を兼ねたクラスの出し物を取り入れ、お互いにそれぞれのクラスの様子を知ることができるようにする。	
2 日 目	○ 朝のつどい	食堂	○ 詩をつくる（国語） ○ うどん作り（家庭）	野外炊事場	○（引き続き）うどん作り、会食（家庭） ○ オリエンテーリング（道徳）	食堂	○ 星座の観察（理科） ○ 一日の反省	
			◎ 詩をつくる活動では、自然の中を歩きながら今の自分の気持ちを表現することをテーマにして行う。その後班で発表会をすることで、お互いの気持ちを知ることができるようにする。 ◎ うどん作りでは、カレー作りと同様に、男子だけ、女子だけの班で行う。作業開始前に、話し合う時間を5分設け、昨日の反省を生かして効率的に進めることができるようにする。		◎ オリエンテーリングでは、事前に「男女の区別なくお互いのよいところを理解することが大切であること」をテーマに、道徳の授業を実施しておく。、男女混合の班で行うことで、それを実際に感じ取ることができるようにする。		◎ 事前に班ごとに星座にまつわる話を調べておく、実際に星座を指し示しながらその話をするようにする。	
3 日 目	○ 朝のつどい	食堂	○ 終わりの会（学活） ○ 登山（体育）	弁当	○ 学校まで移動	〈事後の指導〉 ○ 壁新聞作り（総合） ◎ 3日間を振り返り、「ふれあい」をテーマに一人一人が壁新聞を作る。ふれあったことでどのように感じたのか、自分の気持ちを入れるように伝える。		
			◎ 鍋割登山を行うため、昼食はお弁当とする。 ◎ 登山では、登山の注意事項を徹底させ、お互いに声を掛け合って、全員が歩ききれるようにすることを目標として実施する。		◎ 昼食後、そのままバスに乗り、学校へ移動する。	○ 仲間の大切さ（道徳） ◎ 林間学校で、友達にしてもらってうれしかったことを出し合い、一人一人がかけがえのない存在であることを理解できるようにする。		

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。